

一緒に“中部の未来をつくる仕事”をしませんか

皆さんは国家公務員に対して、終日机に向かって働いているというイメージを持っていませんか？

もちろん、デスクワークで重要な仕事はたくさんありますが、国の重要な道路や河川などのインフラ整備に関わる中部地方整備局は、フィールドワークの多いことが特徴です。

近年、女性の活躍がめざましいなか、当局では女性職員が年々増加しているとともに、性別に関係なく活躍できる場が広がっています。

県域を越えたスケールの大きいインフラ事業や防災事業など“中部の未来”へ、そして“日本の未来”へつながる仕事を、私たちと行いませんか。中部地方整備局に入局して、一緒に未来をつくりましょう!!



女性が少ないイメージがありませんか？

中部地方整備局では、近年、新規採用職員のうち、約3割の女性職員が入省しています。また、年齢別でみても20代の女性の割合は他の年代より多く、女性職員の割合は増加傾向にあります。

同年代の女性職員が多いので、仕事の相談だけでなく、プライベートの話、また女性ならではの相談もしやすく、働きやすい環境が整っています！

女性職員の採用数について
【採用年度別】

		H30 年度	H31 年度	R2 年度
男性		24名	41名	47名
女性		14名	17名	21名
女性割合 (全体)		36.8%	29.3%	30.8%
内訳	事務	50.0%	41.2%	28.0%
	技術	32.1%	22.0%	32.6%

女性職員の割合について【年代別】

